

【研究主題】 地域と共にある学校図書館経営

【副題】 ～生徒たちの居場所づくり（キャリア教育の視点から）～

【学校名】 高島市立今津中学校

1 本校の概要

【校訓】 真理の探究 正義の実践 平和の愛好

【学校教育目標】

豊かな心（新しい発想をもつ）

自律（自ら考え判断し行動する）

尊重（相手意識をもつ）

【生徒数】

1年70名 2年95名 3年80名 計245名

2 取り組んだ内容

（1）夢トーク（1年生）

1年生は、1月にキャリア教育として「夢トーク～地域の方と自分の夢について語る～」を実施した。1クラスを6つのグループにわけ、1グループごとに地域でお仕事をされている方を招待する。生徒は自分の夢を語り、地域の方はその夢に対して助言や励ましの言葉を伝え、自分の仕事についても説明する。今回助成金で購入した書籍も利用し、仕事や自分がやってみたいことを考える機会がもてた。また、様々な職種の方とお話できたことはキャリア教育を進めるうえで有意義な時間となった。



（2）職場体験事前学習（2年生）

2年生は、職場体験の事前学習として、職業調べやマナー講座を実施した。今回助成金で購入した「キャリア教育支援ガイドお仕事ナビ28冊」を学級や学年の廊下に設置し、常に手に取れるような環境をつくり意識の向上を図ることができた。

（3）放課後学習会および座談会（全校生対象）

10月から学友会（生徒会）主催で放課後居場所づくりとして、図書室で「放課後学習会」「放課後図書室開館」「放課後座談会」を月1回実施した。教職員は部活動指導や会議があるため、地域のボランティアの方々に参加していただき、学習指導や図書室開館業務、進路や様々なことについての助言をしていただいた。本校には学校運営協議会を中心とした『今津中サポーター会』があり、現役の保護者ではない地域の方の学校応援団が設置されている。当日参加できる方ができる範囲で支援してくださっている。生徒も少しだけ学習したり、話を聞いてもらったりなど自由に参加している。部活動を引退した3年生が完全下校までの時間に、教員以外の大人に話を聞いてもらえる機会はあまりない。今回を機に、負担のない範囲で継続していきたい。



3 活動の成果

放課後の部活動がない日に、中学生たちの居場所が街の中にはあまりない。「もう少しだけ友だちと話したい。もう少しだけ気になるところを学び合いたい。」そんな声があがっていた。地域の方と相談した結果、放課後に図書室で学習会や座談会を地域の方とできれば、安心して過ごせると判断した。総合的な学習では、各学年とも地域の方と触れ合う場面が設定されている。その出会いを機に、放課後も時間の許す範囲で、地域の方が中学生とかかわりをもっていただけるようになったことはとても大きな財産である。地域と共にある学校図書館経営の第一歩を踏み出せた。